



モノ言う市民の水先案内人  
**デモカレンダー**  
<https://democalendar.jp/>

# しろい・九条の会 第21回 全体集会

**2026年6月28日(日) 9時半～12時**  
**白井駅前センター 視聴覚室**

9:15 開場 / 9:30 総会直前映画上映会

～共謀罪が通った日～「前夜」がやってきた

10:10 全体集会開会

議案審議の後、意見交換を予定しています

世話人会に参加しませんか (一般会員もOK)

次回: 7月7日予定.....原則第1火曜日

日時: 原則第1火曜日 9時~ 会報印刷/封入/配達手配

場所: まちづくりサポートセンター (市役所東庁舎入って正面)

\* 日時を変更する場合があります。ご参加の際は前もって、

代表・影山廣輔 090-8848-3200) または世話人にご連絡ください。



九条の会  
オフィシャルサイト  
<http://www.9-jo.jp>



日本を「戦争する国」にさせない!

## しろい・九条の会

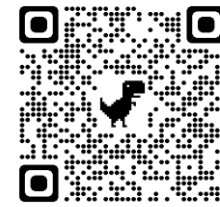
《代表》影山廣輔 090-8848-3200

会報

No.241

2026年6月

発行: 事務局



しろい・九条の会  
QRコード

### 日本国憲法 第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、  
国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際  
紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空その他の戦力は、これを保  
持しない。国の交戦権は、これを認めない。



憲法紙芝居動画  
QRコード

語りあおう平和の道を (白井市平和都市宣言より)

戦後81年

美しいカラー版はホームページをご覧ください。



## ”新たな戦前”を迎えないために 「9条護れ」の声を上げよう

この一年、特にここ数カ月において情勢は国内外とも悪化しています。ウクライナ、パレスチナでの戦争が未だ止まぬばかりか、第二次政権を発足させたアメリカ合衆国トランプ大統領は、いわゆるトランプ関税の混乱やベネズエラ・イランに対する軍事侵略などを引き起こし、新たなリスクとなっています。これらは世界各国から反発を招き、アメリカの信用を著しく低下させ「パクス・アメリカーナ」の終わりを加速させているようにも見えます。

これら世界情勢の影響が物価高・物不足などの形で日本にも及び、国民生活を脅かしている中、今年2月の総選挙ではいわゆる高市フィーバーにより与党自民党が圧勝し、立憲野党が大幅に減退、改憲勢力が大多数を占めるに至りました。これにより、戦後日本を守ってきた平和憲法の破壊のリスクがこれまでになく高まっています。その上、度を越えた対米従属外交により大義無き戦争に対する批判ができないばかりか、これもまたアメリカからの要望に基づく中国を念頭に置いた軍拡政策が推し進められ、暮らしの予算が削られ、戦後初めての軍事増税まで始まりました。さらには、これまで日本があえてやらなかった海外への武器輸出が図られるなど、「戦争できる国づくり」が推し進められようとしています。

私たちの、かけがえのない日々の暮らしと、その大前提としての平和を守るために、私たち一人ひとりが「国は日本国憲法を守れ」「憲法9条を護れ」という声を大きくはっきりとあげていくことが、今ほど大事な時はありません。

しろい・九条の会は『白井市平和都市宣言』の精神に則り、平和の道を語り訴え続けます

昭和62年3月13日

白井市平和都市宣言

白い梨の花が咲く  
緑豊かな田園のまち

青く広がる空のもと  
ふれあい集う文化のまち

笑顔あふれて歌声ひびき  
日々のくらしのやすらぎと  
希望に満ちたしあわせが

全人類の大切な地球を愛するから  
かけがえのないひとびとを愛するから  
語りあおう平和の道を

私たちは生命の尊さを深く認識し核兵器の廃絶と  
日本のそして世界の恒久平和の実現を念願します

白井市は市民の平和と繁栄を求める心を結集し  
ここに「平和都市」であることを宣言します。

会員・非会員問わず  
投稿大募集

「語りあおう平和の道を」  
(白井市平和都市宣言より)

会員投稿コーナー

世界平和からなに気ない日常まで、どんな内容でも構いません。  
ふるって皆様の声をお寄せください。

会費納入に訪問して

清水口 伊藤広子 (会計担当)

4月、5月と会員さんと対話する機会があった。最近の傲慢な政治に立腹、恐怖を強く感じる。なかなか行動できないが会報は必ず読む。あの顔はみたくないのでテレビはみない。イランが悪者かのような報道、真実は見極めないと、とか様々書ききれない。この原稿を書いている18日、日経平均株価最高値65,158円、誰がホクホクしているの。出光のタンカーが初到着。国内需要1日分の8割程度の量に驚く。あなたは働いて働いて働いて、日本をアメリカ51番目の州にしたいのですか？

憲法審査会Watching - シリーズ ②⑥

古賀 誠氏が語った憲法9条

笹塚 齊藤昭夫

この間、憲法審査会は毎週定期的に行われている。主に論議されているのは、「緊急事態条項」について条文案を作成することである。衆議院の審査会には、5月14日、「『緊急事態条項』のイメージ(案)」を法制局・憲法審査会事務局が提出するなど、「緊急事態事項」の条文案を作成することによって改憲の発議に進もうというのである。

何度も触れたことだが、改憲派の本丸は9条である。しかし9条を今改正しようとするのは難しい。だからまずは「緊急事態事項」で試してみようではないか、という戦略である。考えてみれば、こうした戦略をとらざるを得ないということ自体、9条の精神が国民の中に広く、深くしみこんでいることの証拠だと言っていいのではないだろうか。

折しも、5月2日の「報道特集」(TBS)は、古賀 誠元自民党幹事長のインタビューを放映した。古賀氏はその中で、次のようなことを語っている。

憲法9条は守るべきだ。世界の国々が9条をもったとき、初めて世界は平和になる。

9条には世界を平和にする力がある。

心強い発言である。9条を守るということは、世界史的な意義をもつことなのだ、と言いたいのだと思う。わたしは、このインタビューを見ながら、9条のもつ力というものについて考えるとともに、世界史的な意義をもつ運動に参加していることに、改めて誇りを感じた次第である。



武器輸出反対 ~「民の誇り」を拠点に~

池の上 栗原茂幸

高市政権は先の衆議院選挙で自民・維新の与党が三分の二を超える議席を獲得したことで「国論を二分するような政策」を次々に実行に移している。武器輸出もその一端である。政権担当者(為政者)を「国」と言い換えれば「国の誇り」を元に遂行を企てていると言える。その「誇り」とは、日本国の過去の植民地支配を「反省しない」、日本国憲法前文の「日本国民は、〔中略〕平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」を「おめでとう」(いずれも政治家高市早苗の言)という類である。武器輸出・国旗損壊罪・皇室典範・憲法「改正」を「日本国の誇り」(の獲得・回復)と掲げる現政権に抗するには、現に民主主義の一表現である選挙で多数を占める為政者・「国」ではなく「民」(ヒト、人間、市民、人民と言い換えられるが、「国民」には互換できない)の「誇り」で対峙するよりないのではないのか。民主主義の根基に「民の誇り」があると考え。

憲法を考える映画会・春の特別企画  
~ミサイル基地がやってきた~『島で生きる』 上映会  
参加者の声 ①

去る3月28日、白井市役所東庁舎1階にある「まちサポ」多目的スペースにて、現在沖縄県石垣島で起きていることを追ったドキュメンタリー映画『島で生きる』の上映会を開催しました。映画を製作した湯本雅典監督のトークもあって、会場は満席となり、盛況のうちに終わりました。このイベントに参加された方々からの感想・意見などを紹介いたします。

- ◎議会のありようが人ごとではなかった。条例をクリアーしているのに議会在否決するとは、道理が通らない話。
- ◎沖縄の人達の穏やかな顔の中に力強さを感じます。知らないことばかりでしたが、良い機会でした。先生のお話でなおよく分かりやすかったです。
- ◎参加者が意見を交換する時間も十分確保するようにしたほうが良い。時間がなくてそのような時間が持てないのは残念!
- ◎ロシアとウクライナの戦争、アメリカによるベネズエラ、イランへの一方的な攻撃と世の中が力による支配を一方的な正当性をふりかざしている昨今、石垣島におこっていることは、今の日本におこりうる、そう遠くない未来だととても考えさせられました。憲法9条、守らなければならないと痛感します。国には憲法を軽んじてほしくないと思います。
- ◎映画会はこれまでのやり方で結構です。日本の政府のやり方、民主主義を否定するやり方には怒りを禁じ得ません。
- ◎自治基本条例があるのに市長がやぶり、裁判でも否決されたのにはビックリした。さらに住民投票の部分もなくしたのにさらにビックリ!どうなっているのか?
- ◎新聞やネット記事からでは入手できなかった、貴重なお話がきました。その中でも、是々非々の議論ではないという意見が一人ではなく複数から映像の中にあり、これがリアルな事実なんだろうと思います。だからこそ司法の場で合意点につながるやりとりができればいいのに、無作法にも議会在がねじ曲げていて腹立たしかったです。